

# 新・尾瀬ビジョンの概要

～ 「あなた」と創る「みんな」の尾瀬 ～

## 新・尾瀬ビジョンとは？

尾瀬にかかわる「みんな」の想いをとりまとめた  
“これからの尾瀬がめざす姿と方向性”

最初の尾瀬ビジョン(2006年)の策定から10年以上が経過し、尾瀬を取り巻く自然的・社会的環境の変化等を踏まえ、将来を見据えたビジョンへと改定

### 自然的・社会的環境の主な変化

- ① 少子高齢化・人口減少による影響
- ② ライフスタイルの変化とレジャーの多様化
- ③ 外国人旅行者の増加
- ④ 気候変動による自然生態系への影響
- ⑤ ニホンジカによる影響
- ⑥ 財政状況などの悪化

### 活かしたい尾瀬の強み

- ① 歴史・伝統・文化の魅力
- ② 尾瀬が持つ普遍的価値
- ③ 自然保護の原点
- ④ ごみ持ち帰り運動発祥の地
- ⑤ 多様な主体が参加できる「仕組み」の存在
- ⑥ 一級自然の中で歩き、学び、宿泊できる特別感
- ⑦ 受け入れることができる利用者層の幅広さ

## 尾瀬がめざす姿

### 「みんなに愛され続ける尾瀬」

#### ○生きものの視点

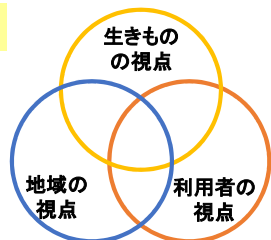
尾瀬本来の生きものがありのままに生きている

#### ○利用者の視点

いつ来ても楽しく誰もがわくわくできる

#### ○地域の視点

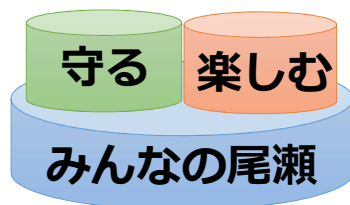
地域の人々が誇りを持っていきいきできる



## 行動理念

### みんなの尾瀬を みんなで守り みんなで楽しむ

- |     |  |
|-----|--|
| みんな | 尾瀬の普遍的価値を広く発信し、尾瀬を愛する輪を広げていきましょう       |
| 守る  | かけがえのない尾瀬をみんなで守り育て、しっかりと次代に引き継いでいきましょう |
| 楽しむ | 自然を損なわない楽しみ方を考えながら、みんなが訪れたくなる尾瀬にしましょう  |



## 今後の方向性と必要な取組

### みんなで守る

- ① 自然豊かな尾瀬づくり  
(これまでの取組の継承、貴重な自然環境の保護、植生の荒廃対策、外来植物対策)
- ② 歴史・伝統・文化が息づく尾瀬づくり  
(歴史・伝統・文化の保全、新しい歴史・伝統・文化の創造)
- ③ 野生動物との軋轢の解消  
(ニホンジカによる被害の低減、ツキノワグマとの共存、新たな獣害への対応)
- ④ 科学的知見に基づく保全  
(調査研究の促進)



### みんなで楽しむ

- ① 魅力あふれる尾瀬づくり  
(尾瀬の魅力向上)
- ② 幅広い楽しみ方の検討  
(多様な利用方法の検討、エコツーリズムの推進、地域における利用の役割分担、滞在型・周遊型利用の促進)
- ③ 楽しむための土台づくり  
(安全対策、施設の整備、ルール・マナーの検討・普及啓発、望ましい交通アクセスの検討)



### みんなの尾瀬

- ① 愛される尾瀬づくり  
(尾瀬のファンづくり、尾瀬で学ぶ機会の拡大)
- ② モデルとなる尾瀬づくり  
(先進的な取組の推進)
- ③ 尾瀬を育てる仕組みづくり  
(多様な主体の参加と連携促進、担い手の育成、資金的サポートの呼びかけ)
- ④ 情報の効果的・効率的な発信  
(認知度の向上、情報の共有)
- ⑤ 尾瀬の現状把握  
(基本情報の収集)



### 新・尾瀬ビジョン Q&A

「みんな」って誰のこと？

「みんな」には、尾瀬にいるすべての生きものも含まれます。「あなた」を始め、すでに尾瀬と関わっている人、まだ尾瀬との関わりに気付いていない人、これから尾瀬と関わっていく人が含まれています。

新・尾瀬ビジョンで考える範囲は？

尾瀬国立公園十周辺地域三尾瀬です。自然を守るための普及啓発や魅力の発信などは、地域を限定せずに進めていきます。

「尾瀬がめざす姿」ってどういうこと？

あなたや次代を担う子どもたちにとって、20年後の尾瀬がどうあってほしいか考えた姿です。